

AED 講習会を開催しました

2021年12月9日(木)、六ツ川スポーツ会館に於いて「救命講習・救命入門コース」として、胸骨圧迫とAEDの取り扱いについて南消防署六ツ川消防出張所所長さんをはじめ、隊員の方々に指導していただきました。

参加者は22名で13時半～15時の1時間半、最初は配布されたテキストを読みながら、所長さんの説明に聞き入り、隊員の実演を真剣に見ていました。



★ もしも、倒れている人を発見したり、目の前で誰かが倒れてしまったら…まず周囲の安全を確認して、両肩を叩き、本人の意識の有無、呼吸・心拍の有無を確認します。

★ その場に居合わせた人が救命処置を行うことは、「119番通報」することと同様に重要です。

～今回の目標～

・胸骨圧迫(心肺蘇生法)を救急車が到着するまでできるようになる。

・AED(自動体外式除細動器)を正しく使用することができるようになる。

参加者は4つのグループで分かれ、ダミー人形と練習用のAEDを使い、一人ずつ順番に役割分担しながら救命の体験をしました。



「胸骨圧迫の位置はここでよいのか」「手の使い方や力の入れ具合が大変でした」「2分間を継続することができるだろうか」という声も聞かれました。

★ 最後に隊員の方から、救命入門コースの「参加証」をいただきました。そして、救命処置はできる限り、早く始めれば命を救える確率は上がります。

「一人では難しいかもしれないが、できる限り、大きな声で周囲への協力を求めてほしい。」との言葉に みなさん納得されていました。